

開催日時：2003 年 12 月 9 日（火） 16：00～18：40

場 所：大阪国際会議場 3 階 イベントホール

参加者数：委員 41 名、河川管理者 20 名、一般傍聴者 387 名

1 決定事項

- ・資料 2-1「淀川水系流域委員会 意見書（案）031209 版」を流域委員会の意見書として確定した（委員会終了後、意見書提出式にて河川管理者に提出した）
- ・資料 3-2「今後の淀川水系流域委員会について（案）」（現委員の任期が満了する 2005 年 1 月末まで現体制を継続し、2005 年 2 月より新体制に刷新する等）について承認され、河川管理者に提示した。

2 審議の概要

意見書とりまとめまでの経緯について

資料 1「意見書とりまとめの経緯」を用いて、意見書の構成及び作成経緯等が説明された。

淀川水系河川整備計画基礎原案に対する意見書について

資料 2-1「淀川水系流域委員会 意見書（案）031209 版」および資料 2-1 補足「意見書説明資料～新たな川づくりを目指して～」を用いて説明が行われ、意見書（案）021209 版が承認された。

今後の淀川水系流域委員会について

資料 3-1「『今後の淀川水系流域委員会について（案）』検討の経緯」、資料 3-2「今後の淀川水系流域委員会について（案）」を用いて説明が行われ、資料 3-2 が承認された。

一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者 4 名より「意見書でダムについて中止を明言していないことに物足りなさを感じた。ダムに変わる省庁を越える治水や治山についてもっと言及してほしい。」「参考資料 1 に掲載されている意見、基礎原案にかかるダムに関する対案（No.426）をご一読頂きたい。委員会は提言と意見書の基本姿勢を堅持して今後も活動頂きたい」「この流域委員会の方式をこれからも生かしてほしい。費用が膨大にかかったと聞いているが、民主主義のコストと理解している。これを無駄にしないようにして頂きたい」「情報公開、住民参加について、まだ実際に地元の声が反映されていないと感じている。川の文化について国全体で考える方向で努力して頂きたい」等の発言があった。

今後の予定

確定した意見書に関する下記の予定が確認された。

- ・一般の方々を対象とする意見書についての説明会を来年 2 月頃に開催する。具体的内容については、次回運営会議（1 月初旬を予定）にて検討する。
- ・意見書の内容について、河川管理者より疑問点等を提示頂き、それを受けて、運営会議等で対応を検討する。委員会等公開の場でやりとりを行う方向で検討する。

その他

- ・河川管理者より「以前の琵琶湖部会での議論を受けて、淡海の川づくり検討委員会と淀川水系流域委員会の懇談会（委員一個人の立場で参加頂く）を河川管理者主催で 1 月中を目途に開催したいと考えている。ご参加のほど、よろしく願いたい。」との連絡があった。
- ・近畿地方整備局河川部長より「発足以来 2 年 10 ヶ月に渡り熱心に議論して頂いた委員の皆様はじめ、一般傍聴や HP 等を通し意見を頂いた方々、関係自治体等にも深く感謝したい。今後も、意見書および住民や自治体の意見を十分に尊重し、整備計画策定に向けて最大限の努力をしていきたい」旨のお礼が述べられた。

以上

このお知らせは委員の皆様にご会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の詳細については「議事録」を参照下さい。